



第1週
第1日

春季リーグ開幕

神奈川大学野球春季リーグが1日、横浜スタジアムで開幕し、1回戦2

を組む神奈川大は2-0で横浜商大を下し、三森俊貴監督が率いる関東学院大は9-4で横浜国大を破り、それぞれ先勝。同点の七回に富田慎太郎

(3年)の2点適時打などで勝ち越した。第1週第2日は2日、同スタジアムで国大-関東大、商大-神奈川の2回戦2試合を行う。

神大百瀬が初完封

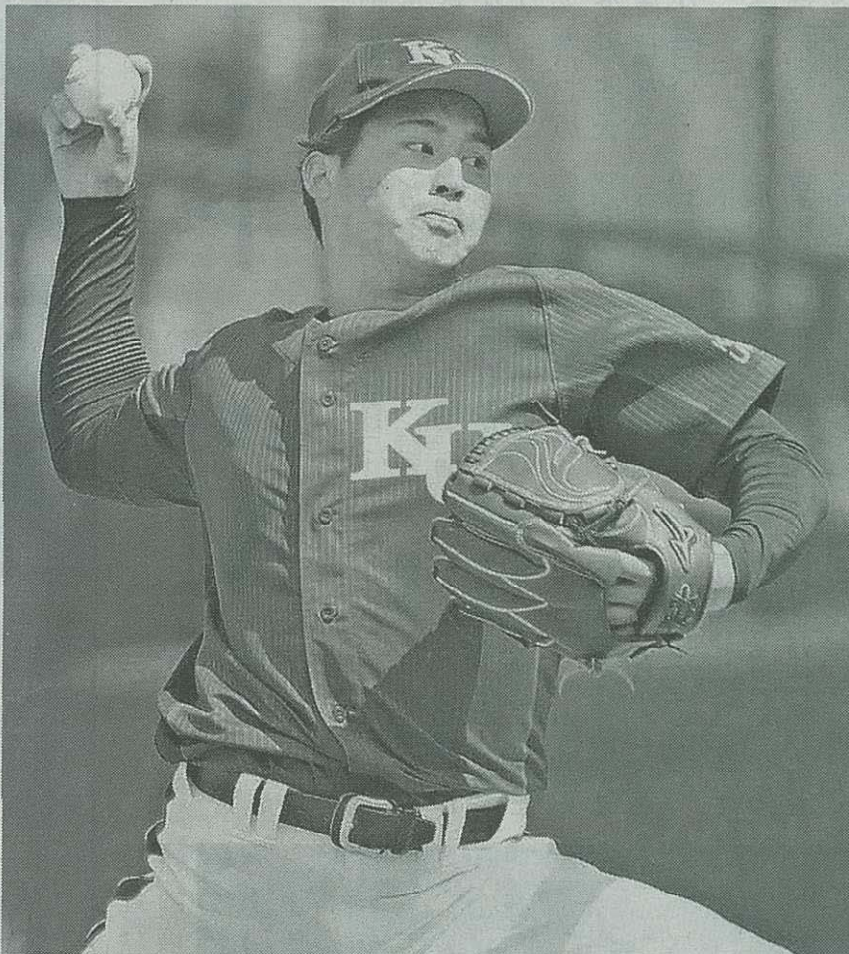
「落ちていて投げることには徹して『らしさ』を発揮できた」。2季連続の開幕投手を務めた神奈川大の右腕百瀬が、リーグ戦初完投を完封勝利で飾った。

今季からセットポジションに変えたことで、試合序盤から四球の多かった課題を克服した。「重心のブレがなく、コントロールで勝負できた」。初回を三者凡退で切り抜けると、以降も直球とツーシームを軸に散発5安打、与四球2の好投をみせた。

悔し涙を糧にした。8年ぶりの明治神宮大会出場を懸けた昨秋の関東地区選手権準決勝で、唯一許した安打がソロ本塁打となり敗退。「あの負けからわずかな投球のズレをなくそうとしてきた」と振り返る。

昨季の絶対的守護神だった中野(王子)が抜け、先発陣は長いイニングを投げることが求められる。岸川雄二監督(45)は「最終学年の意地を感じる」と、力強さを増した右腕を頼もしく見つめる。

敗戦糧に制球力向上



リーグ戦初完投初完封を飾った神奈川大の右腕百瀬
＝横浜スタジアム

「4年生だからといって気負わず、丁寧に仕事を果たしていくだけです」と百瀬。29年ぶりの3連覇へ、

神奈川大	00010001000002
横浜商大	00000001000000
1回戦 神奈川大1勝	
横浜国大	00030000042049
関東学院大	00000210001049

明暗分かれた初采配

関東大・三森監督

今春から指揮を執る関東学院大の三森俊貴監督(38)と横浜商大の井樋秀則監督(57)の初戦は明暗が分かれた。

「学生たちのおかげです」。初勝利の三森監督は照れくさそう。1年時から打線をけん引する3年生トリオの関、古賀、富田を1、4、8番と大胆に配置。同点の七回には打者9人の猛攻で勝ち越しに成功し、「二人一人がたがな意識を持てた。できることを駆使にやって優勝したい」と伝統校復活へ意気込んだ。

一方、開幕戦で3連覇を狙う神奈川大に敗れた井樋監督は「送るが振らせるか迷った」と併殺に終わった0-2の七回1死一塁の場面を悔やむ。2年生右腕の飯田が13奪三振と好投しただけに「今日は選手より緊張したかもしれない。飯田を助けてあげられなかった。今度こそ勝機をつかみたい」とリベンジを誓った。(矢部 真太、写真も)

商大・井樋監督

マウンドへ駆け寄り、右腕飯田(18)を鼓舞する横浜商大・井樋監督(中央)



神奈川大	000001000010000
横浜商大	000000000000000
1回戦 神奈川大1勝	
横浜国大	000000000000000
関東学院大	000000000000000

神奈川大	000000000000000
横浜商大	000000000000000
1回戦 神奈川大1勝	
横浜国大	000000000000000
関東学院大	000000000000000

自(佐藤太、高橋木下、関、太、藤原、佐々木、澤田、中嶋、青木、三森、比企、齋藤、澤田、関)

神奈川大	000001000010000
横浜商大	000000000000000
1回戦 神奈川大1勝	
横浜国大	000000000000000
関東学院大	000000000000000